

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 社会調査の基礎		授業の種類 (講義)・演習・実習		授業担当者 木村 彰裕	
回数 15回	時間数 (単位数) 30時間	配当学年・時期 1年 後期		必修 ・ 選択	
【授業の目的・ねらい】 地域共生社会の実現に向けてソーシャルワーク実践を展開するために社会福祉調査を根拠とした実践が求められている。ソーシャルワーク・リサーチの知識と技術を習得し社会の期待に応えるソーシャルワーク実践が展開できるよう基礎教養を身につける。					
【授業全体の内容の概要】 「社会福祉調査の意義と目的」「社会福祉調査における倫理と個人情報保護」「社会福祉調査のデザイン」「量的調査の方法」「質的調査の方法」「ソーシャルワークにおける評価」について学ぶ。					
【授業修了時の達成課題 (到達目標)】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉調査の意義と目的について説明できる。 2. 社会福祉調査における倫理と個人情報保護について説明できる。 3. 社会福祉調査のデザインについて説明できる。 4. 量的調査の方法について説明できる。 5. 質的調査の方法について説明できる。 6. ソーシャルワークにおける評価について説明できる。 					
【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】 <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション (シラバス、国家試験の傾向) 2. 社会福祉調査の意義と目的/福祉サービスと社会福祉調査 3. 社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係/統計法 4. 社会福祉調査における倫理と個人情報保護 5. 調査における考え方・論理/社会福祉調査のプロセス 6. 社会福祉調査の目的と対象/社会福祉調査でのデータ収集・分析 7. 量的調査の概要/量的調査の種類と方法 8. 質的紙の作成方法と留意点/質問紙の配布 (配付) と回収 9. 量的調査の集計と分析 10. 質的調査の概要と方法/質的調査のサンプリング 11. 質的調査のデータ収集法/質的調査における記録の方法と留意点 12. 質的調査のデータの分析方法 13. ソーシャルワークにおける評価の意義/ソーシャルワークにおける評価対象 14. ソーシャルワークにおける評価方法 15. 国家試験過去問題/国家試験対策 後期末試験 					
【使用テキスト・参考文献】 最新・社会福祉士養成講座 「社会福祉調査の基礎」中央法規出版 社会福祉小六法2021			【単位認定の方法及び基準】 授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況から総合的に評価する 総合評価により単位認定 評価基準：6割以上の成績をもって合格とする		